



I 第 21 週の発生動向 (2025/5/19~2025/5/25)

1. 水痘については、東津軽+青森市保健所管内、三戸+八戸市保健所管内及び上北保健所管内で**警報**が継続しています。
2. 伝染性紅斑については、三戸+八戸市保健所管内及び西北保健所管内で**警報**が継続しています。
3. 百日咳については、東津軽+青森市保健所管内を除く 5 保健所管内で患者が報告されており、特に、中南保健所管内及び三戸+八戸市保健所管内の報告数が多くなっています。手洗い等の基本的な感染対策の徹底をお願いします。

※現在、国及び国立健康危機管理研究機構が警報・注意報の基準値について確認を進めているところですが、県の週報に記載する発生動向では、当面の間、従前の基準値を用いて注意喚起を行います。

II 第 21 週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

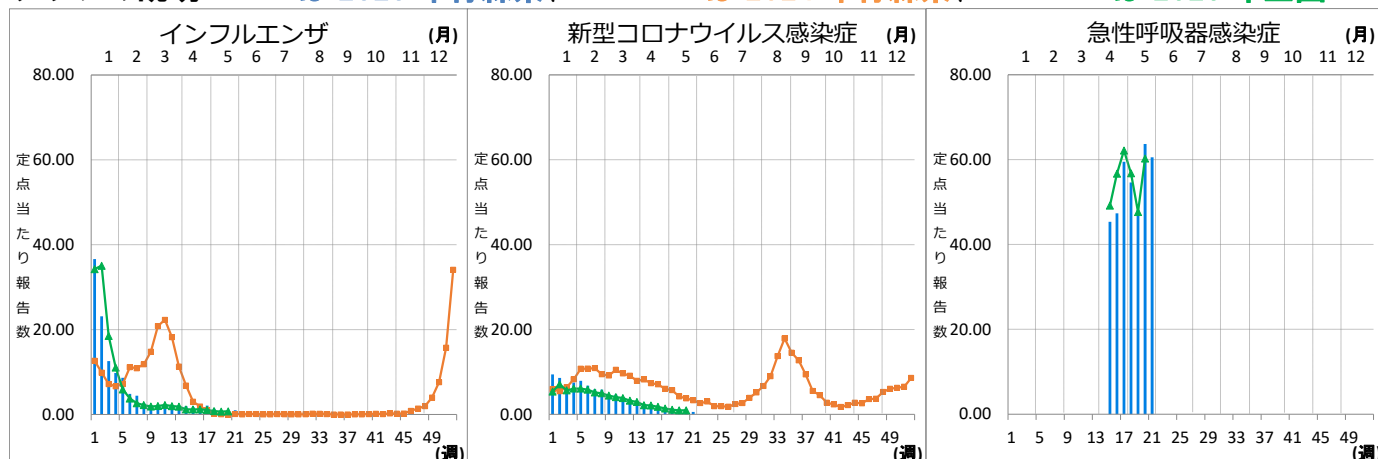
青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

		東青 (東津軽+ 青森市保健所)		中南 (中南保健所)		三八 (三戸+ 八戸市保健所)		西北 (西北保健所)		上北 (上北保健所)		下北 (下北保健所)		青 森 県 計		前週 からの 増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
急性 呼吸器 感染症	インフルエンザ	5	0.45	5	0.50	18	1.80	11	1.83	12	1.33	1	0.17	52	1.00	9
	新型コロナウイルス感染症	6	0.55	6	0.60	8	0.80	1	0.17	6	0.67	3	0.50	30	0.58	-11
	急性呼吸器感染症	1090	99.09	439	43.90	532	53.20	296	49.33	477	53.00	314	52.33	3148	60.54	-164
小児科	RSウイルス感染症			2	0.33	1	0.14	7	1.40					10	0.29	1
	咽頭結膜熱	1	0.17	1	0.17	1	0.14	3	0.60					6	0.18	-3
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	0.50	4	0.67	11	1.57	6	1.20			5	1.25	29	0.85	-10
	感染性胃腸炎	28	4.67	9	1.50	55	7.86	23	4.60	2	0.33			117	3.44	5
	水痘	15	2.50	1	0.17	8	1.14			8	1.33	1	0.25	33	0.97	-19
	手足口病											1	0.25	1	0.03	-3
	伝染性紅斑	3	0.50	9	1.50	14	2.00	9	1.80	4	0.67	1	0.25	40	1.18	-13
	突発性発しん	3	0.50	3	0.50	7	1.00	1	0.20					14	0.41	7
	ヘルパンギーナ															0
	流行性耳下腺炎			1	0.17	1	0.14							2	0.06	1
眼科	急性出血性結膜炎															-1
	流行性角結膜炎			1	0.33	1	0.50	1	1.00					3	0.30	1
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎											10	10.00	10	1.67	3
	無菌性髄膜炎															0

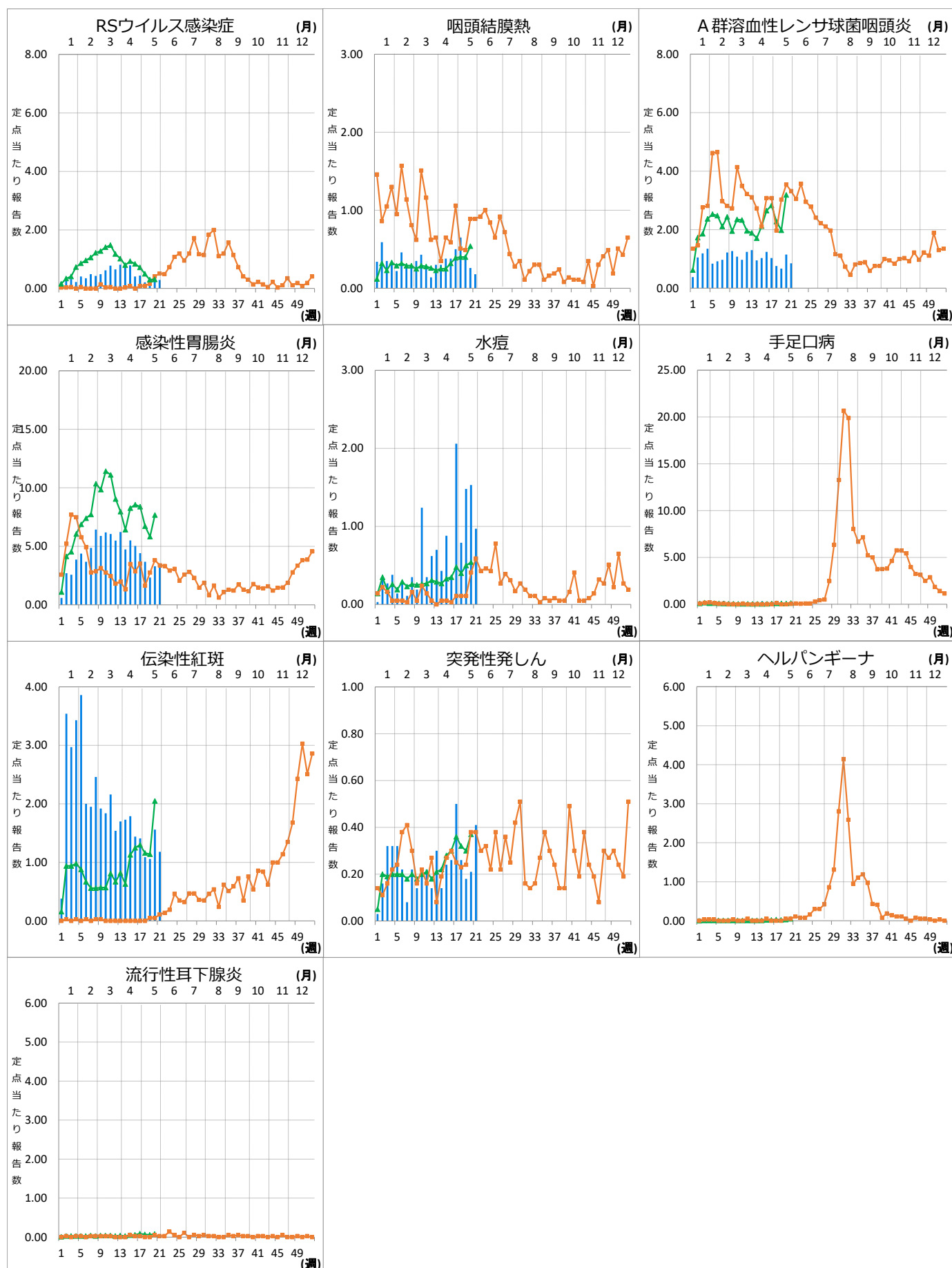
III 定点把握対象疾患週別推移 (急性呼吸器感染症定点) (2025 年第 21 週、ただし全国は前週)

グラフの説明 は 2025 年青森県、 は 2024 年青森県、 は 2025 年全国



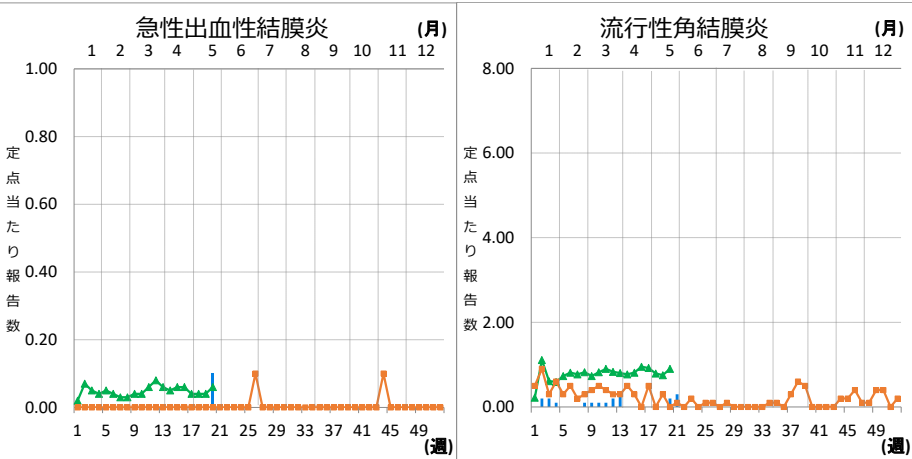
Ⅳ 定点把握対象疾患週別推移（小児科定点）（2025 年第 21 週、ただし全国は前週）

グラフの説明   は 2025 年青森県、 は 2024 年青森県、 は 2025 年全国



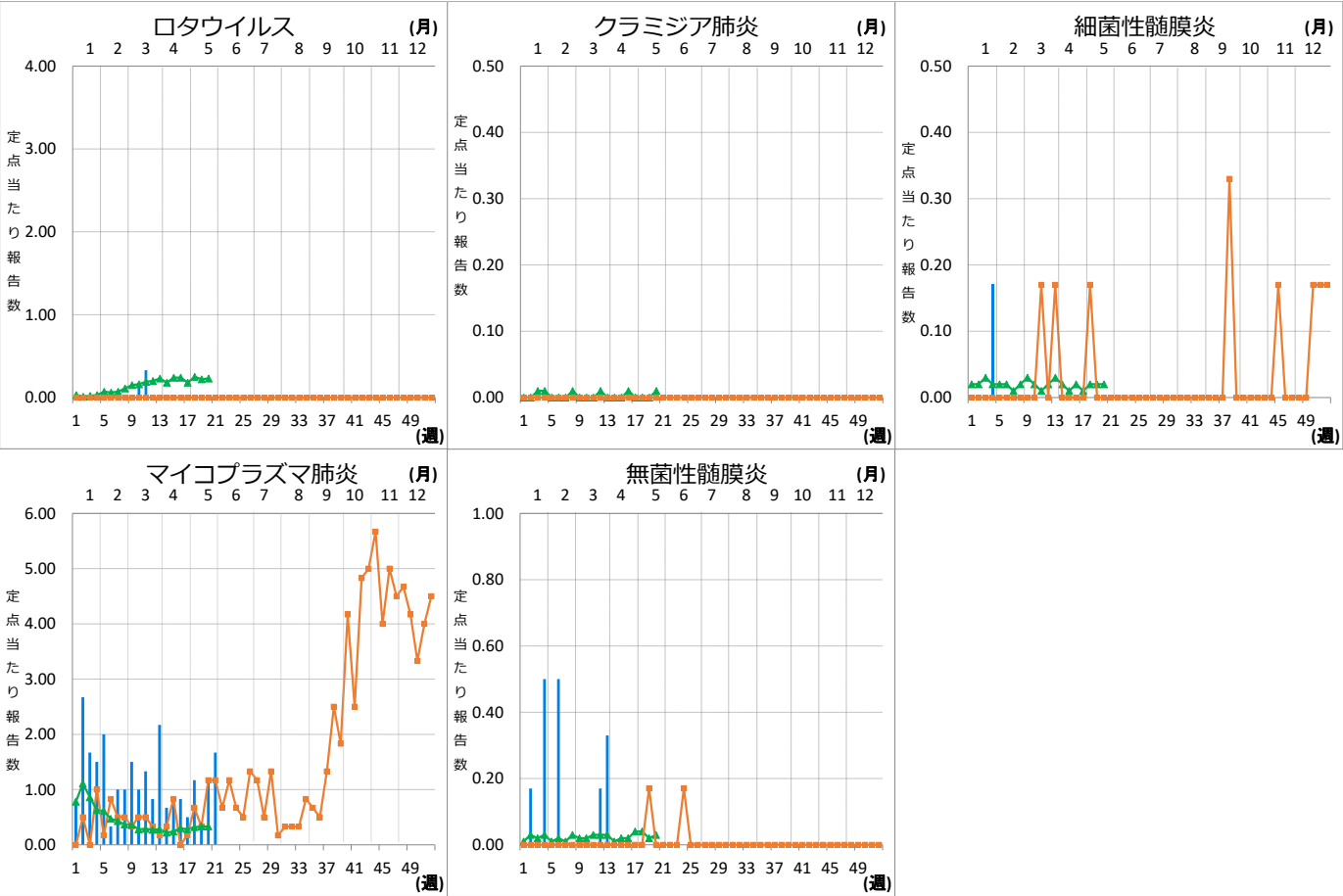
V 定点把握対象疾患週別推移（眼科定点）（2025 年第 21 週、ただし全国は前週）

グラフの説明👉**——は 2025 年青森県、■——■は 2024 年青森県、▲——▲は 2025 年全国**



VI 定点把握対象疾患週別推移（基幹定点）（2025 年第 21 週、ただし全国は前週）

グラフの説明👉**——は 2025 年青森県、■——■は 2024 年青森県、▲——▲は 2025 年全国**



Ⅶ 急性呼吸器感染症 (ARI) 病原体検出情報

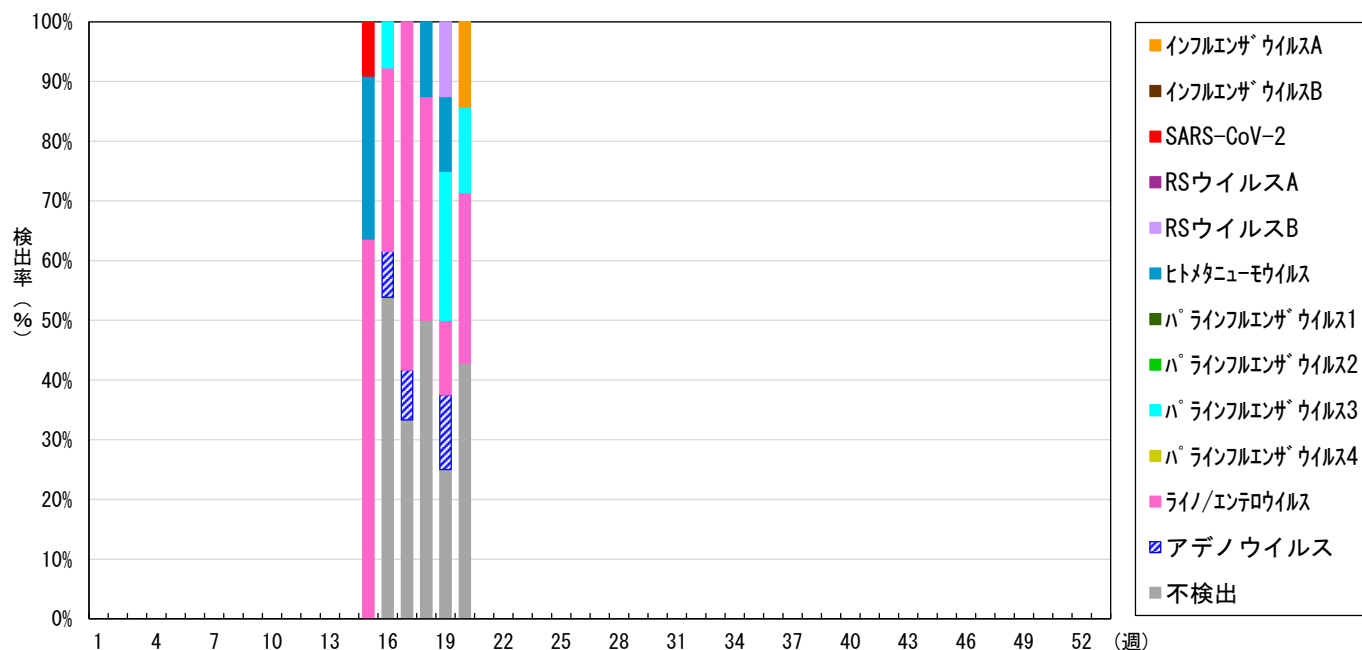
(1) 急性呼吸器感染症病原体定点からの提出検体数及び結果判明分 (2025 年第 15～21 週)

急性呼吸器感染症	2025年							
	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週
提出検体数	11	12	12	8	9	11	6	
インフルエンザウイルスA	0	0	0	0	0	1		
インフルエンザウイルスB	0	0	0	0	0	0		
SARS-CoV-2	1	0	0	0	0	0		
RSウイルスA	0	0	0	0	0	0		
RSウイルスB	0	0	0	0	1	0		
ヒトメタニューモウイルス	3	0	0	1	1	0		
パラインフルエンザウイルス1	0	0	0	0	0	0		
パラインフルエンザウイルス2	0	0	0	0	0	0		
パラインフルエンザウイルス3	0	1	0	0	2	1		
パラインフルエンザウイルス4	0	0	0	0	0	0		
ライノ/エンテロウイルス	7	4	7	3	1	2		
アデノウイルス	0	1	1	0	1	0		
不検出	0	7	4	4	2	3		
検査待ち	0	0	0	0	2	4	6	

※第16週に提出された検体のうち、1検体からライノ/エンテロウイルスとアデノウイルスが検出されました。

※第19週に提出された検体のうち、1検体からライノ/エンテロウイルスとアデノウイルスが検出されました。

(2) 検出された病原体の週別推移 (2025 年第 15 週～)



Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況（第 21 週）

- ・結核（二類感染症）：青森市 1 人、八戸市 1 人、西北 1 人（2025 年計： 42 人）
- ・つつが虫病(四類感染症)：青森市 1 人（2025 年計： 5 人）
- ・侵襲性肺炎球菌感染症(五類感染症)：中南 1 人（2025 年計： 11 人）
- ・百日咳(五類感染症)
：中南 11 人、八戸市 22 人、西北 3 人、上北 1 人、下北 1 人（2025 年計： 366 人）

Ⅸ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2025 年第 18 週～2025 年第 21 週）

週	東青 (東津軽保健所+ 青森市保健所)	中南 (中南保健所)	三八 (三戸保健所+ 八戸市保健所)	西北 (西北保健所)	上北 (上北保健所)	下北 (下北保健所)
18	侵襲性肺炎球菌 感染症1人 百日咳2人	侵襲性肺炎球菌 感染症1人 百日咳7人	百日咳23人	百日咳2人	レジオネラ症1人 百日咳4人	
19	結核1人 つつが虫病1人 百日咳2人	結核1人 百日咳9人	百日咳19人	百日咳1人	つつが虫病1人 百日咳1人	百日咳2人
20	百日咳2人	結核1人 劇症型溶血性レ ンサ球菌感染症 1人 百日咳15人	つつが虫病1人 アメーバ赤痢1人 百日咳14人	百日咳1人	百日咳1人	日本紅斑熱1人 百日咳3人
21	結核1人 つつが虫病1人	侵襲性肺炎球菌 感染症1人 百日咳11人	結核1人 百日咳22人	結核1人 百日咳3人	百日咳1人	百日咳1人

百日咳について、以下のとおり追加しました。

- ・第 19 週…中南+2 人
- ・第 20 週…中南+2 人、三八+3 人

また、第 20 週に中南保健所管内で劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 人、下北保健所管内で日本紅斑熱 1 人の届出がありましたので追加しました。

X 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2025 年第 1 週～第 20 週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокス症	エムポックス
累積報告数	4890	3	21	535	9	3	216	58	9	1
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	オウム病	回帰熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ポツリヌス症	マラリア
累積報告数	4	2	1	34	6	62	56	85	1	7
分類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	638	2	176	83	589	9	245	9	62	632
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトкокス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症
累積報告数	291	12	319	33	1878	224	5058	62	26	36
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症						
累積報告数	19274	6	125	4						

青森県（2025 年第 1 週～第 21 週までの累計）

分類	二類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	つつが虫病	日本紅斑熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	42	5	5	1	4	1	6	1	1	5
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	百日咳					
累積報告数	1	3	11	8	366					

XI 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日報告はありませんでした。

Ⅷ 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2025 年第 21 週
報告はありませんでした。

2025 年報告件数及び発症者数

施設種別		月(週)																				計 (施設別)
		1月 1-5週	2月 6-9週	3月 10-13週	4月 14-17週	5月 18週19週20週21週22週					6月 23週24週25週26週		6月 23-26週	7月 27-31週	8月 32-35週	9月 36-39週	10月 40-44週	11月 45-48週	12月 49-52週			
介護・老人福祉関係施設	件数	1	4	4	4	1	0	0	0												14	
	発症者数	7	70	69	78	11	0	0	0												235	
児童・婦人関係施設等	件数	4	10	8	7	0	0	1	0												30	
	発症者数	74	228	136	128	0	0	25	0												591	
障がい関係施設	件数	0	2	2	1	1	0	0	0												6	
	発症者数	0	37	25	10	5	0	0	0												77	
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0												0	
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0												0	
計(月別)	件数	5	16	14	12	3					0									50		
	発症者数	81	335	230	216	41					0										903	

感染症の窓

後天性免疫不全症候群（AIDS、エイズ）は、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）の感染によって免疫不全が生じ、日和見感染症（健康な状態では感染しないような弱い病原性の微生物による感染症）や悪性腫瘍を引き起こす状態をいいます。

HIV感染後2～6週間に、50～90%の感染者には、右図に示す症状が単独あるいは複合してみられるとされています。いずれの症状もHIV感染に特異的な症状ではありませんが、HIV感染者あるいは

HIV感染のリスクを有する人との性的接触など、心当たりがある場合は、早期発見のためにHIV検査を行うことが大切です。6月1日～7日はHIV検査普及週間です。

県内各保健所で実施しているHIV検査は、その日のうちに結果がわかる即日検査で、希望に応じて梅毒や性器クラミジアの検査（後日、結果判明）も併せて実施しています。検査は予約制（電話・インターネット）ですので、心配な方は、まずは最寄りの保健所に相談しましょう。

エイズはかつて、「死の病」と考えられていましたが、HIV感染を早期に発見し、服薬治療を受けることで、現在では通常の生活を送ることが可能となりました。治療に当たっては、医師の指示どおり服薬を継続する必要がありますので、定期的に受診し、医師と十分なコミュニケーションをとることが大切です。

○詳しい情報はこちらをご覧ください。☞[青森県 STOP AIDS\(青森県HP\)](#)

後天性免疫不全症候群

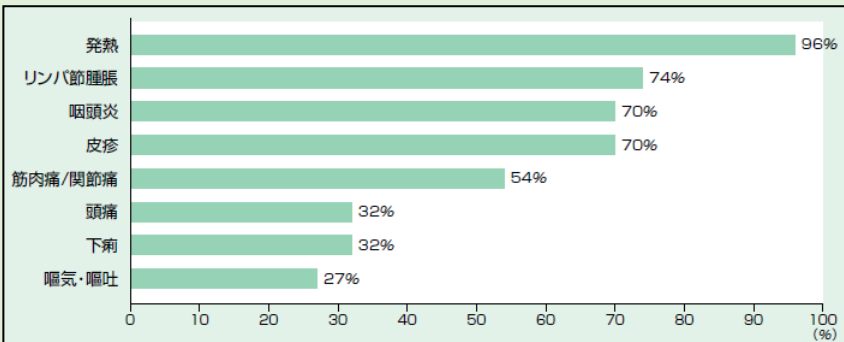


図 急性 HIV 感染症の症状（HIV 感染症「治療の手引き」（日本エイズ学会 HIV 感染症治療委員会）より抜粋）

